

道東地区教会連合会機関誌



# 道東 51 こ う ほ う 光 報



'DŌTŌKŌHŌ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.51 Oct.,2023

## 信心の形

道東地区信徒会委員長 清水 優 (十勝教会)

滝上はオホーツク海より40キロ程内陸に位置しているため年間を通して気温の差が大きいとされている。一昨年は氷点下33・5度まで下がり夏には35度超えとなるなど海沿いの紋別市に比べると年間の気温差は10度以上は確実にあると思われる。

9月末には山々は緑が抜け始め黄色や赤が下りてくる。同時に気温も急激に下がり始める。

○ 生神金光大神大祭の日に必ず思いおこされることがある。明治43年、金光滝上開拓団を引き連れた団長岡本政道師はご本部にて教祖大祭(生神金光大神大祭)を終え蒸気

機関車に引かれ霊地を発つたのが10月12日とされている。

温暖な岡山から朝は氷点下になろうという滝上の未開の地にたどり着いた団長、団員はどのようなして冬を越したのだろうかと思いを馳せる。

宗教による固い団結心で協力し合い越冬したと史誌には記されているが想像を絶する苦難であったであろうと思わずにいられない。毎日、朝と夕に団長宅の礼拝所で信心を高め合ったと伝わるがコメを自作できない北の開拓地で経験のない寒さに凍え、熊の襲撃に怯えながらも、お道を心の糧に耐え忍

んだ先人たち。  
現代に生きる自分も金光教教徒の末席に名を置いてはいるが、その信心の重さ思い入れには天と地ほどの差がある。

母方祖父より繋がるお道だが、自分は「金光教によって導かれた祖父がこの地にいたからこそ今の自分がある。それがありがたい」自分の信心の原点はここにあると思っている。

信心仲間、信友(親友)のように地に足の着いた信心の形ではないが、朝晩に自宅神前に、自分をこの滝上の地に生かしていただき感謝申し上げますとお礼を申し上げている。

教祖様は勿論であるが多

大なお力添えを下さった三

代様 佐藤範雄先生 親教

会黒忠教会、山下鑑影先生、

団長岡本政道師 滝上教会

をお引き受けくださった十

勝教会歴代先生教会長とお

礼を申し上げ、今日一日の

安全をお願いし、今日一日

の安全のお礼を申し上げる。

信心の形はそれぞれかと

思うが、自分はかなり異質

かもしれない。でも、こん

な信心の形も良いのではと

勝手に思い込んでいる。

### 教会掲示板

教会からあれこれ

### 北見教会

北見市寿町三丁目五番一号

TEL 〇一五七二四一七四七四

FAX 〇一五七二四一七四七四

教祖様百四十年に当たると今

年は、月例祭に信者さんと経

典の教祖様ご理解集を改めて

読み返しています。残された

ご理解は参られた方が何を願

われたなかでのことなのか

わからないものもあります

が、おそらく色々な願いやお

頼みに対して話されたのもの

なのでしよう。教祖様の広前

の狭さを思えば話しているこ

とが他の人に聞こえていたと

思うので、特に秘密というこ

とはなかったのかもしれない

ん。

残されているご理解を伝え

た方々は、おそらく何度も

参って何度も話しを聞きある

いは聴いて、時には疑問を感

じて尋ねたり自分のなかで問

い直したりを繰り返していた

からこそ、ずしりと心に響く

大切なことを感じ取ることが

出来たのだと思います。

現代社会は、最近のコロナ

をきっかけにネット中心で顔

が見えない会話が大きく増え

ています。リモートやテレビ

電話といった画面を通しての

対話もあります。どこかよ

そよそしく距離感を埋めるこ

とは出来ません。多くの有識

者が語っているように、未来

を左右するかもしれない多

くの重要なことに無関心が蔓

延している反面、特定の人や

物事に対して匿名での誹謗中

傷、フェイクニュース、詐欺

がネットに溢れているのは、

機械を通しての遠い人間関係

に慣れてそれが当たり前にな

り、知らず知らず本物の人

間とのふれあいや考えるこ

とを避けているから起こる

ことなのでしょうね。

教祖様は、取り次ぎとい

う形を通して、いつの時代

でもどんな世の中でも、神

と人、人と人が互いに心

を開いて話し合い信じ合い

信頼を築くことが人間社会

には最も必要なことだと教

えて下さったのでしょうか。

(矢代)

### 網走教会

網走市北四条西一丁目六番地

TEL 〇一五二一四三三九五四

FAX 〇一五二一四三三九五四

日々教主金光様の御祈念

と御取次を頂いて、今年7

月16日、網走教会布教百年

記念大祭を在籍信奉者はじ

め多くの信奉者のお祈り添

え、お世話を頂いて仕える

ことができました。ありが

### 各教会秋の大祭日程

釧路	10月22日(日)
北見	11月3日(祝)
十勝	11月19日(日)
帯広	11月5日(日)
網走	10月29日(日)

とうございました。

祭典及び祝宴はコロナ禍でありましたので、市内のセントラルホテルを会場に、函館親教会長矢代利恵先生を祭主、道東地区教会連合会の教会長及び関係教会の先生を祭員に迎え、また隣接教会、関係教会の信奉者の参拝を頂き麗しく仕えられました。誠に有り難いことと改めてお礼申し上げます。

三年前に教会長に就任後、教会役員及び在籍信奉者が教会を守り、月例祭、みたままつり、大祭などの準備やご用、三年の間、玄関の修理、車椅子も利用できる洋式トイレに改修、また、南側廊下窓（アルミサッシ）に変更などご都合お練り合わせをいただきながらおかげを蒙ってまいりました。有り難いことであります。

振り返りますと、網走教会

は、旭川教会信者の谷内田ツギ氏が熱心に信心を進め、そのお導きを受けた人の中で、嘉多山えい氏が、誘われて釧路教会に参拝し、このような結構な道の教会を設置してほしいものだと願われました。その後、嘉多山氏は釧路教会長八木幸次郎師に相談し、函館教会にも参拝し教会設置の陳情をいたしました。

函館教会初代教会長 矢代幸次郎先生の命にて、信越教区長岡教会在籍教師貝瀬米吉師は大正十年初め、嘉多山氏の別宅と称する処で布教を開始いたしました。その後七代にわたる歴代教会長のご祈念と御取次ご用を頂き、多くの信奉者の信心によっておかげをいただいてまいりました。そしておかげを積み重ねて今年布教百年を迎え

ました。

教祖様一四〇年のお年柄を迎え、10月10日には教祖百四十年生神金光大神大祭団体参拝に併せて網走布教百年のお礼参拝をさせて頂きました。

これまでのご恩を知り、ご恩に報いる信心生活をさせていたたくようおかげを蒙ってまいりたいと祈念しています。

(田中)

### 帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地  
TEL 〇一五五―三三―六八三五  
FAX 〇一五五―三三―六八三五

去る7月25日教会長田中東作先生が96歳でお国替えをいたしました。

生前中は在籍信奉者並びに多くの隣接教会長及び信奉者にはお祈り添え、何かと

お世話をいただきましたこと厚くお礼を申し上げます。

また葬儀にはお忙しい中、会葬いただきお礼申し上げます。

7月は例年になく猛暑が続く中、教会長は亡くなる直前まで元気に生活を送っていました。

5年前までは、危ないながらも時期々に足場を作り、境内のオンコの剪定を何日もかけて手入れを行っていました。5年前に脳梗塞、肝臓ガンになってからは、足腰も悪くなり外作業は出来ませんでした。週2回のデイサービスも嫌がらず行き、教会では歩行器を使いリハビリも積極的にしておりました。また毎日自分で作った祈願詞を奉唱し、ご祈念をし、コーヒーを飲みながら、昔から本を

読む事が好きで、分からない単語や文字は必ず辞書で調べメモに書いていました。トイレ、食事も自分のことは自分ですることが出来、介護はほとんど必要がありませんでした。

その後、教会長は7月16日の網走教会の布教百年には参拝の願いもありました。しかし、高齢のせいか食事も水も進まず体調も悪くなり、コロナ禍で一般医療及び終末医療は受けずに、教会にて訪問看護と医療を受けることにしましたが、25日夜体調が急変し、家族、兄弟、孫達に囲まれつつ静かに息を引き取りました。教会長は生前自分亡くなったら読んでほしいものを残してくれました。その中には、一つ、朝夕のご祈念を忘れないこと、二つ、仲良く生きること、三つ、

喜ぶことをすること、お礼を申すこと、四つ、実意丁寧親切に生きること、おごることなく、謙虚に慎ましく暮らし、人の喜ぶお役に立つ人間になることなど書き残してくれました。9月5日帯広教会長に任命されましたが、前教会長の祈り、支えをいただきながら、また多くの信奉者のお祈り添えをいただきながら、いのちを頂いたこと、親の恩を忘れず教会ご用を仕えてまいりますと祈念しております。(田中)

### 釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号  
TEL 〇一五四一四一一三五一  
FAX 〇一五四一四一一三六一

「教祖一四〇年・本部広前記念大祭」

昨年暮れに、令和5年10

月10日の予定として、教祖一四〇年祭には、参拝予定の信奉者こそおられなかったが、私一人でも参拝させて頂こうと、教会の金光大神の祭典予定日10月10日を変更し、信徒会で作成している年間予定の暦に変更を記載してもらい信奉者に配布していた。

令和5年になって、予定を順次クリアしていたが、古谷さんが、金光教学院特設科に入学することが急遽決まり、4月に入学試験を受け合格、6月半ばから7月半ばにかけて無事修行を終え教会に帰ってこられた。9月13日の函館親教会の布教記念祭には本人を伴い、お礼参拝の予定でいた。ご主人も、難病の次男を連れて、一緒に参拝する予定になっていた。

8月5日だったか、6日

だったか、教会境内の草刈に皆で奉仕して下さっていたが、6日の晩、その次男が熱を出した。出生の時お世話になった釧路市立病院に行くと、肺炎を罹っていると言うことで入院。だんだん悪化したようで、コロナの関係もあり、母親の以外の付き添いは駄目と言うことになり、祖母が必要な物を病院に届けることになった。ただ、恵枝さんにお会いすることは出来ても、孫の病棟にも近づけない状況でした。

私は、神様に詫びた。大人の都合で、なぜ突然母が一ヶ月もの間いなかったのか、毎日教会に来て、変わらぬ生活をしていたようにみえたが、21歳になつているとは言え、難病でもものも言えない子が、どんなに寂

しかったことかと、ただただ神様に詫びた。

9月22日、その子が無事退院でき、大変なおかげを頂きました。

前後しますが、9月13日には私一人が函館親教会に参拝となり、皆で参拝することが出来ずお詫びさせて頂きました。

○

その後、なんとなく自分一人で本部広前にお参りできらるだろうかと、思うようになりました。日常の生活は家の中。通院しているとはいえ、教会の前から車で病院に行く。駐車場から病院の受付、診察棟まではエスカレーターなどに乗らず、わざわざ階段を利用したりしていましたが、はたして金光駅から、本部広前まで歩けるだろうか？と思うよ

うになり、ちょっと不安になりました。

その不安がだんだん募り、10月6日、病院の診察日だったので、バスで病院に行くことと計画し、教会からほんの二〇〇メートルのところまで歩きました。

なんと、そのバス停のところまで歩くのが大変で中止し、タクシード病院に行くことにしました。帰りは、タクシード教会近くの薬局に止まり、薬を頂いて、教会まで歩いてみました。元気な時なら、何でもないことだったのですが、歩く先にベンチがないか（あるはずありませんが）、教会にたどり着いた時には、椅子に腰掛けて座っていたのか、神様に向かっていたのか、休んでいたのかかわからないほどでした。すぐに教会室にあるパソ

コンに向かいました。

本部広前参拝は無理と解ったので、10月の予定8日の月例祭を10日に変更、遙拝をさせて頂くことにし、ハガキで連絡しました。

ところが、8日までは、どの家にもハガキが届かず、8日の日に、月例祭・月例霊祭があると思って参拝に来られた方々に、お詫びをし、10日の日に変更した旨を伝え、お帰り頂きました。

変更した理由に、本部広前大祭を遙拝することにした旨を伝えれば良かったのですが、それも伝えなかったので、10日に変更した月例祭（遙拝）・月例霊祭にお参りされたのは、3名ほどでした。

それでも、月例祭の祭詞で遙拝の旨を伝え、その後一分ほど遙拝（敬礼）をし、玉串を奉奠させて頂き、天地書

附を奉体、月例霊祭に移り、最後に神徳賛詞を奉唱して、拝礼で祭典を終了させて頂きました。

教話では、教会の月例祭は、13時開始ですが、本部広前の教祖一四〇年記念金光大神大祭は、13時30分祭典開始ですから、丁度、祭典の中に遙拝が出来有難いことでしたとの挨拶から始まりました。

挨拶やお話の前に、必ず「天地は語る」の一節を奉読させて頂いておりますが、第五章 生き神の道

第一節 生神金光大神 第352項を奉読させて頂きました。

この項は、近藤藤守先生が伝えておりますので、教話の初めに、近藤藤守先生ご夫妻は、大坂から経費をかけてのお参りですから、

教祖様から、「天地金乃神様は、世界中をお守りして下さるから、どこからでも天地金乃神様と申す、お参りしますとおかげが頂けますから、早々お参りに来られなくても良いですよ。」と言われていた。

この日近藤先生は、お参りの先に、奥様の所に参り、丁度都合の良いところに奥様がおられましたので、奥様に、「金光様は、どこから拜んでも神様がおられますからと言われますが、他のお人はいざ知らず、私ども夫妻は、金光様を我が親と思ってお参りさせて頂いておりますので、どうぞどこから拜んでも、と言われたいように奥様からお口添えください」とお願いした。

奥様は、お笑いになり、どうぞそのように金光様にお

話しく下さいと申され、引き下がられました。

藤守先生ご夫妻は、それではと、お広前に回り、誰も御参拝者がいなかったため、お結界に進み、金光様に事の次第を申しあげた。すると金光様が、

「私は生神ではない。百姓である。天地金乃神様に頼めばよい。私はただ、神様に申しあげるだけのことである」と仰せられ、ご神前に進まれた。すぐ神様から、

「金光大神は、自分は百姓であるから天地金乃神の頼めばよい、と言うが、金光大神があつて天地金乃神のおかげが受けられるようになった。神は何千年来、悪神邪神と言われてきたが、金光大神があつて神は世に出たのである。神にとつての恩人は金光大神である。人間も、金光

大神があつてこそ神のおかげが受けられるようになった。人間にとつても恩人である。神からも人間からも両方の恩人は金光大神である。金光大神、と頼んでおけばよい。金光大神の言うことを聞いてそのとうりにすれば、神の言うことを聞くのと同じである。金光大神の言葉にそむかないように、よく守って信心せよ」とお知らせがあつた。その後、金光様は、

「今、神様があのように仰せられたが、私は神様の番人のようなものであるから、私に頼んでもおかげはいただけはしない。どうあろうとも、天地金乃神様、と一心にすればよい」と仰せられた、すると、

「金光大神はあの言うように言うが、金光大神にすがつてい

ればよい。まさかの折には、天地金乃神、と言うにはおよばない。金光大神助けてくれ、と言えば、すぐにおかげを授けてやる」とお知らせがあつた。

このご理解のように、天地金乃神様と、金光大神様は、天地のしんが同根。と言われるように、どちらも言われませんが、金光大神様は、天地金乃神様の働きを理解されているので、天地金乃神様の働きの道理を理解し、天地金乃神様の働きの感謝させて頂けば、金光様の、いわゆる神人(信心)になつていくのでは、と思われま

近藤藤守ご夫妻は、驚きのあまり、声も出なかつたとおもわれます。

時間が経てば、金光様のお声はいつも聞いていたと

思いますが、天地金乃神様のお声は、どんなお声であったのか。

金光大神様が願うと、天地金乃神様が答えてくださる、そんな光景を、近藤藤守夫妻に聞いてみたいものでありますね。

(江郷)

### 十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二一  
TEL 〇一五五七一一一三三三  
FAX 〇一五五七一一四二二三

最初に断っておきますが、今回はたわいのない話なので、軽く流し読みしてもらって結構です。

教祖一四〇年本部生神金光

大神大祭参拝余話・・・

カーナビの怪

10月10日、無事に本部大祭

へ参拝を済ませた十勝教会代表参拝団一行（と言っても3名だが）。翌日、せっかくの機会だからと、レンタカーを借り岡山観光としゃれ込んだ。

今から一六八年前、赤沢文治、つまりの後の教祖様が本厄の厄除け祈願に参拝した吉備津神社に一行も参拝。教祖と同じお祓いを受け（厄とか全然関係ないけど）、釜鳴神事という貴重な占いを体験する。

その後、隣町の備中国分寺を拝観。岡山二大パワースポット巡った一行は、一路その日の宿に定めた吉備高原を目指す。

見知らぬ土地であろうと「カーナビ」があれば道に迷うことはない。便利になったものだ。

カーナビが言う、

「この先を左折です」。指示に従いハンドルを切る。山道だが片側一車線ずつ、道幅も広い。県道だ。続けてカーナビが言う

「この先しばらく道なりです」。

広いから山道を走るのもいいか。いやしかしだんだん道幅が狭くなっていくような気が・・・？

錯覚ではない。気がつく道幅はクルマがなんとかすれ違えるほどに。そしてとうとう道幅は車一台分。すれ違い不可！

しかも左側は川、ガードレールなし。右側は落石注意。しかもタマに対向車が・・・（百メートルごとにすれ違いのための待避所があるんだけどね）。

既視感・・・「ポツンと一軒

家！」。

ヒヤヒヤしながら約10分、ようやく大きな道に出る。

と、今来た道の道路標識には「この先通行困難 注意」

カーナビっ！

翌朝、空港へ向かう。さすがに空港へ行く道、昨日のようなことはいらないだろう・・・。

聞き慣れたカーナビの指示、

「この先を左折です」

また山道だが・・・今度は最初から狭い。もう覚悟は決めた・・・。見知らぬ土地であろうと「カーナビ」があれば道に迷うことはない。迷うことはないが・・・。

北海道民にとって、本州の生活道路にはスリルを超えて恐怖を感じることもあるので気をつけましょうというお話でした。

(玉置)

行事報告

▼道東地区教会連語会研修会・交流会

「わがところから神心へ」地区集会

- ・日時 6月17日(土) 午後2時から午後7時
- ・会場 十勝教会
- ・内容 「教祖様の御生涯」(映像を使った研修)
- ・終了後交流会
- ・参加者17名

▼網走教会 布教百年記念祭 の奉祝参拝

- ・日時 7月16日(日)
- ・会場 セントラルホテル

▼教区青少年のつどい

「みどりのひろば」

- ・日時 8月5日(土) 午前9時30分から午後2時
- ・会場 小樽水族館
- ・参加者 道東地区から9名

▼教祖一四〇年奉祝北海道霊地集会

- ・日時 10月10日(火) 午前9時30分から12時
- ・会場 金光教本部・修徳殿
- ・参加者 道東地区から11名

行事予定

▼連合会役員会

- ・日時 11月23日(祝) 午前10時30分
- ・会場 北見教会
- ・対象者 連合会役員

お知らせ

▼教師任命

金光教釧路教会 古谷先生

▼訃報

帯広教会長・田中先生 96歳  
7月25日ご帰幽



道東地区教会連合会ホームページ(PC用)  
<https://konkotokachi.stars.ne.jp/kyokai/doto/>  
ご意見をお寄せください  
konkodoto@gmail.com